

# 救世僧！大募集

2016年11月17日

## 1. 【救世・ぐぜ】とは、仏教語です。

- ①世の衆生を救済すること。
- ②仏・菩薩(求道者)の通称。
- ③観世音菩薩(特に女性の求道者)のこと。

## 2. 【僧・そう】とは、(梵語 samgha の音写「僧伽(そうぎゃ)」の略。和合衆・衆と訳す)。

- ①仏教の修行者の集団。「僧伽(サンガ)」「僧院・僧物(そうもつ)」。
- ②①に属する修行者。特に中国・日本では、仏門に入って仏道修行する各個人の称。  
在家。出家。沙門。僧尼。比丘(びく)。比丘尼(びくに)。雲水。菩薩(求道者)。

## 3. 【救世僧・ぐぜそう】とは、上記1、2の『好一对語』です。

- ①世の人々の「四苦八苦」を、「抜苦与樂の行」とする・雲水(僧侶・尼僧・求道者・菩薩)。
- ②上記①を義捐(ぎえん)する世界中の善男善女(この人達も尊い「救世僧」です)。

注1【四苦八苦】とは、非常な苦しみ。また、あらゆる苦しみ。仏教で、生(しょう)・老・病・死の四苦に、愛別離苦・怨憎会(おんぞうえ)苦・求不得(ぐふとく)苦・五陰盛(ごおんじょう)苦の四苦を加えた言葉。

注2【抜苦与樂】とは、仏や菩薩(在家・出家の僧尼)が衆生の苦しみを抜いて福樂を与えること。  
・抜苦(苦を抜く)とは、悲をあらわし、  
・与樂(樂を与える)とは、慈をあらわす。

ただし、慈・悲を反対に配当する見解もある。

大智度論 27 には「大慈与一切衆生樂、大悲抜一切衆生苦」とある。仏教の基本的な考え方として、この世の苦しみを解除して、至福の境地に至ることが挙げられる。

これは「厭離穢土・欣求淨土」という言葉とともに、仏教の基本的理念を端的に現したものである。また、獄苦代受とも併用して使われることが多い。

注3【獄苦代受】とは、仏や菩薩が衆生の地獄のような苦しみを代わりに受けることをいう。

代受苦、大悲代受苦ともいう。特に、地蔵菩薩はその徳相を表すとされ「身代わり地蔵」とも。他人の代わりに苦しみを受けることで、菩薩の大慈悲心についていう。

注4【雲水・うんすい】とは、中国、朝鮮、日本における修行僧の呼称。真理をたずね道を求めて各地をめぐり、あたかも行雲流水のように、「樹下石上」を旨とし修行する僧・尼僧。

## 4. 現代における【救世僧・ぐぜそう】とは、下記の善男善女のことで。

- ①在家・出家を問わず、悪魔の所業(ワクチンの注射等人類のゾンビ化)を糾弾・断罪する人々。
- ②「人の不幸は蜜の味」を堪能している悪魔主義者=拝金主義者を糾弾・断罪する人々。
- ③「人種差別」・「宗教差別」・「貧富差別」=「賃金差別」を糾弾・断罪する人々。
- ④「バクチ経済解放」を目指し、「共同体経済」を励行努力している人々(不射幸戒の励行者)。
- ⑤「嘘八百の歴史」を「真実の歴史」に「修正」しようと努力している人々(不妄語戒の励行者)。
- ⑥「ベジタリアン」を可能な限り、励行しようと努力している人々(不殺生戒の励行者)。
- ⑦「万人の共有物である大自然」を、体を張って「死守」せんと努力している人々(不偷盜戒の励行者)。
- ⑧上記①～⑦の励行を実践するため、日々積極的に活動している『反ワクチン救世僧』。



現代人に一番『不必要なもの』は「拝金主義」と「西洋医学」です。特に『ワクチン』です。ビル・ゲイツ一味(ビル&メリンダ・ゲイツ財団)は、飽くなき金儲けのために製薬会社とグルになり、人類のゾンビ化=『ワクチン』を世界中にバラ撒いています。早急に「阻止」しなければ子供達に未来はないのです。

●『ワクチン』は異物/病原菌です。

絶対に！、絶対に！、絶対に！、子供達には注射してはなりません。

●皆、『救世僧』になって、『悪魔の手先』(ゲイツ一味)を、このかけがえのない『地球』から追放しよう。

日本義塾 主宰 新村紘宇二